

“藤原の郷”に後藤新平コーナー

「歴史公園えさし藤原の郷」では、後藤新平の台湾での功績を紹介するパネルを園内に設置しました。台湾からのツアー客や日本人観光客らに新平の足跡を広く伝えられるよう、「お休み処」と「ロケ資料館」に常設したものです。

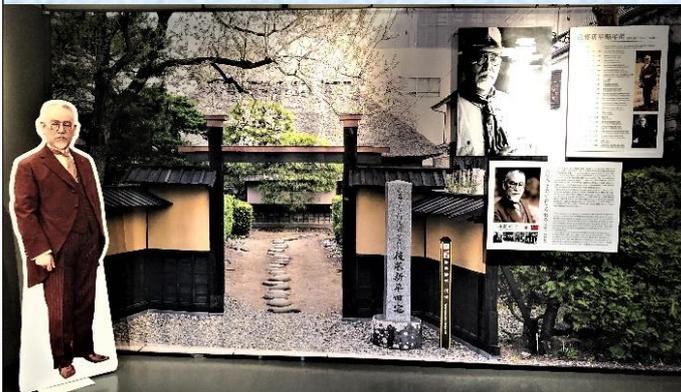
台湾からのツアー客が、年間1万人以上という「歴史公園えさし藤原の郷」。多くの台湾の方々が来園するので、台湾総督府民政長官として台湾の近代化に貢献した後藤新平を紹介し、「市内周遊」や「ドラマ化」の一助にしたいと、園内2ヶ所に「後藤新平コーナー」が設置されました。

【No.1.「お休み処」1～2階踊り場にパネル5枚】

まず1ヶ所目は、「お休み処」の団体用食堂のある2階に向かう踊り場に、5枚のパネルが設置されました。そこでは、「人は人によって育てられる」という新平の信念を紹介し、現在に伝わる新平の言葉「一に人 二に人 三に人」、「人のお世話にならぬよう 人のお世話をするよう そして 酬いを求めぬよう（自治三訣）」、「金を残すは下 仕事を残すは中 人を残すは上等な生き方だ」が、英語と台湾語で説明されています。台湾語は困難としても、英語でどのように訳されているのか読み取るのも一興です。



【No.2.「資料館」旧宅写真大型タペストリー+等身大写真パネル+パネル8枚】



料金所を入ってすぐ右手に「ロケ資料館」があります。そこでは、園内でのロケの様子や裏話、最新のロケ情報などを紹介していますが、その入口に、「ドラマ化に向けて」というコンセプトで、後藤新平コーナーを設置しました。大型の桜満開の旧宅写真の前に起立する等身大の後藤新平像。そこで肩を並べて記念撮影をすることができます。更に、「台湾縦貫鉄道」や「港湾整備」「学校建設」「病院建設」「道路整備」「上下水道整備」等、台湾での「後藤新平の仕事」を8枚のパネルを使って紹介しています。いつの日か、「大河ドラマ」の主人公での登場を願って。

【水沢中央 LC と台湾澄清湖 LC が当館にカーテン寄贈】8月3日

台湾の高雄市を拠点とする澄清湖獅子會と水沢中央ライオンズクラブが、姉妹クラブを締結して35年。この度、台湾 LC の会員や家族ら24人をお招きし、記念式典や祝賀会が開催されました。

16年前、奇美博物館の許文龍会長から旧台南水道整備に尽力した浜野弥四郎の胸像を寄贈していただきましたが、当館との仲介の労をとっていただいたのが水沢中央 LC です。今回また姉妹クラブとのご縁があり、館内のカーテン一式をご寄贈いただくことになりました。



この日の朝8時30分、後藤新平記念館において贈呈式が行われ、伊藤功水沢中央 LC 会長と黄俊順澄清湖獅子會会長から奥州市教育委員会高橋広和教育部長が目録を受領しました。

その後、市内ホテルに移動して祝賀会。終了後の午後1時には秋田に移動し、「竿燈まつり」の見学。翌日は青森に移動し、「ねぶた祭り」への参加とのこと。すさまじいハードスケジュール。日台親善交流もなかなか大変です。